

第29回 工業教育全国研究大会 開催要項

- 1 主催 日本工業教育経営研究会・日本工業技術教育学会
2 主管 日本工業教育経営研究会近畿支部
3 後援 文部科学省、大阪府教育委員会、(公社)全国工業高等学校長協会、
近畿工業高等学校長協会
4 期日 令和元年7月13日(土)～7月14日(日)
5 会場 大阪電気通信大学 寝屋川駅前キャンパス
〒572-0837 大阪府寝屋川市早子町1-2-16
最寄駅: 京阪本線 寝屋川市駅 下車 徒歩3分
6 主題 「我が国の技術・技能を支える工業教育の推進」
7 日程 第1日 7月13日(土) 11:00～12:00 理事会
12:30～13:00 受付
13:00～14:10 開会式、総会
14:20～15:00 講演Ⅰ
15:10～15:50 講話
16:00～16:40 講演Ⅱ
17:30～19:30 教育懇談会
第2日 7月14日(日) 9:30～12:30 研究協議(各分科会)
各分科会で閉会式

8 講演・講話

- 講演Ⅰ「IoT・スマート工場と Edge computing の動向、工業高校に求める人材像」
横河電気株式会社 IA・PA 事業本部プロダクト営業センター
エッジソリューション統括部国内営業2部 課長 杉浦 洋夫 様
講話「高等学校学習指導要領の改訂と工業教育(調整中)」
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室 教科調査官(兼任)
持田 雄一 様
講演Ⅱ「IoTの現状と将来予測、今後の人材教育のポイント」
大阪電気通信大学 工学部 電子機械工学科 講師 小川 勝史 様

9 研究協議

第1分科会(学会論文)

- 1 「技術・工業の学習構造について」 石坂 政俊(日本大学)
2 「これからの情報教育について」 山口 敏和(江戸川大学)
3 「工業高校卒業生における継続的な学びの支援の在り方ー卒業生に対する調査結果の報告第2報ー」
島田 和典(東京学芸大学)、作田 慶(元学生)
中村 豊久、長田 利彦、豊田 善敬、石坂 政俊(日本工業技術教育学会)

- 4 「工業高校卒業生における継続的な学びの支援の在り方ー大学への進学を目指す工業高校生像ー」
島田 和典(東京学芸大学)、高橋 秀行(東京学芸大学学生)

第2分科会(学会論文)

- 1 「ネット環境におけるアプリケーションソフトの応用 [Fusion360 とマイクロビットの研究]」
岩永 満(大阪・西野田工科)
2 「3Dプリンタの製作と活用についての研究」 中谷 竜友(神奈川・神奈川工)
3 「高大連携の実践」 及川 久遠(西日本工業大学)
4 「デジタル信号処理学習支援システムの開発」
堀 桂太郎(国立明石工業高等専門学校)

第3分科会(工業教育の活性化)

- 1 「平成30年度全国工業教育指導者養成講習会に参加して(報告)」
櫻井 大輔(兵庫・飾磨工)
2 「工業科におけるPBLによる授業改善」 菊池 敏(岩手・釜石商工)
3 「本校におけるESD活動」 佐久間 英謙(岐阜・大垣工)
4 「福島県の工業教育」 関根 毅(福島・郡山北工)

第4分科会(課題研究・個性化・特色化教育)

- 1 「高校生による出前授業プログラミング教育」 矢野 裕和、小杉 哲也(東京・杉並工)
2 「地域と関わる課題研究の取組～[IoT技術を用いた車載用危険感知装置の開発]を通して～」
亀谷 望(北海道・釧路工)
3 「コンペを通じたコミュニケーション能力の育成」 竹田 基(埼玉・熊谷工)
4 「生物工場の活用」 千馬 実(秋田・秋田工)

- 10 会費 参加費4,000円 資料費3,000円 教育懇談会費5,000円
11 宿泊 各自申込
12 申込期限 令和元年7月3日(水)
13 申込方法 申込用紙は下記事務局に送付してください。大会会費は同封の振込用紙を使って、
次の口座へ振り込んでください。

ゆうちょ銀行振替口座番号00990-0-334140
加入者名 日本工業教育経営研究会近畿支部

- 14 事務局 第29回工業教育全国研究大会 実行委員長
大阪府立淀川工科高等学校長 阿部 政之
〒535-0001 大阪市旭区太子橋3-1-32
TEL: 06-6952-0001・FAX: 06-6952-6555
E-mail: T-AbeM@medu.pref.osaka.jp